

二〇一二年 七月

「今月の言葉」と「今月の聖語」についての紹介

今月の言葉

見えないところであつて

生きているのは竹だけではない

とういよしお
東井義雄

竹は一本一本がまっすぐ地面から伸びていきます。成長の速度は驚異的で、二か月もあれば十メートルになる竹もあります。この伸長ぶりは、まるで中高生のみなさんのようです。

今までは一人でできなかったことが自分でできるようになる。さらに、人に言われなくても自分で考えて行動できるようになる。そんな成長をみなさんに期待しています。

さて、もう一つ竹の特徴として注目すべき点は、一本一本が独立しているようで、実は地面の下で、つながりあっているということです。

「自分で何でもできる」と自信をもつことは大切ですが、「だれにも世話にならずに生きていける」と過信してしまうことには要注意。今の私があるのは、家族・親戚・友人・先生など無数の人々の支えがあったからこそ。そして今も、これからも…。人間の支えのみならず、多くのいのちを頂いて、生きてこられたことも忘れてはなりません。

目には見えない「いのち」のつながりにも気づかされる心。そんな心の成長も願っております。

今月の聖語

損か得か人間のものさし

嘘か真か仏さまのものさし

あいだ
相田みつを

「好き嫌いしたらダメ！」

昔、野菜嫌いだった私が、晩御飯の時にたびたび親から言われた言葉です。今では好き嫌いをすることなく、何でもおいしく頂けるようになったのは、親のおかげです。野菜の好き嫌いをしては、栄養が偏って健康によくないと心配してくれました。

親が私のことに気をかけて見てくれたように、仏さまも私たち人間の心を見抜かれています。好きか嫌いか、楽か苦しいか、名誉か不名誉か。そんな損得勘定のものさしではかかってしまう私たちの心です。仏さまは、そうした不実の心を悲しまれ、真実へ導いてくださっているのです。

宗教教育係